

米兵による性暴力 いんぺい 隠蔽を許さない!

[米兵による少女暴行事件に抗議し
再発防止を求める 12.22 沖縄県民大会]



同時アクション@おおさか

期日：12月22日（日）

時間：14：00～ 集会（扇町公園南西角）

★「沖縄・米兵による女性への性犯罪 13 版」朗読★

14：40～ デモ（解散地：梅田 OSビル前）

15：30～16：00 スタンディング（HEP ナビオ前）



※どなたでも自由に参加できます。※スタンディングからの参加 OK

昨年 12 月、沖縄の米兵による 16 歳未満の少女への性暴力事件が起きました。日本政府は、半年もこの事件を沖縄県に伝えることなく隠蔽していました。米軍は未だに謝罪も再発防止策も示していません。12 月 22 日（日）沖縄県女性団体連絡協議会の呼びかけで、68 団体の賛同を得て沖縄市内で「米兵による少女暴行事件に抗議し再発防止を求める県民大会」が開催されます。私たちは、米軍基地があることにより性暴力が繰り返され、命と人権が脅かされて続けていることを決して許しません。沖縄県民大会に連帯し、同日に大阪で抗議の集会、デモ、スタンディングを行います。

師走にあわただしい時期ではありますが、是非お集まりください。

いくさば
《呼びかけ》沖縄を再び戦場にさせない実行委員会



osakadouji1123@gmail.com



性暴力を許さない!

日米地位協定の改定を!

沖縄タイムス

2024年(令和6年) 7月13日 土曜日

昨年12月に起きた沖縄の米兵による性暴力事件の第一回公判の傍聴記です
ぜひ、一度お読み下さい

米兵の獲物いつまで

傍聴記

上間陽子さん

南国沖縄で小雨が降って

冷え込んだクリスマススイアの日、アメリカ人のその男は、妻と喧嘩をして気晴らしのためにドライブに出かけたのだという。公園に一人の女の子がいたので、大丈夫? と声をかけて、身

振り手ふりで自分の歳を覚えてくれたその子に、私は米軍の特別捜査官だと言って、寒いから自分の車で話そうと女の子を誘い、自分の家に連れていった。

家に着いてから、自分はその子に性行為はしたけど、その子の同意を得てやったので自分がやったのはレイプではなく、そもそも



自分はその子が16歳未満だとは思わなかったの、したがって自分は無罪である。

裁判所に高級車2台で乗りつけて、糊の利いたワイシャツ姿で法廷入りしたワシントン被告は、弁護士3人に囲まれながら、そのように自分の無罪を主張した。

その子が被害に遭っていたその時刻、私は自分がどこで何をしていたかを考えながら被告の話の聞いていた。

被告が女の子を見つけたその時刻、私は早めに仕事を片つけて、クリスマスケーキを買って帰宅した。私

がご飯を作っていたその時刻、その子は知らない家で性暴力を受けていた。私が食卓でご飯を食べていたその時刻、その子は、泣きながら家に帰り、家族は警察に電話をかけた。だからそ

う。子どもたちがサンタクロースを待ちながら眠りについたであろう夜半過ぎ、その子は、恐怖の中で警察の事情聴取を受け、硬い病院のベッドの上で体液の採取をしていたことになる。

ここまで言わないと分からないのか? これが性暴力の起きるその日だ。それから続く、長い戦いの日々最初の日である。

この国はなぜその事実を私たちに話し、この子のケアチームを立ち上げ、子どもを守れなかったという謝罪をしないのか。黙り通し、隠し通し、口先だけの沖縄の負担軽減を述べて濁す。

それが暴力への結託ではなくて何なのか。私たち沖縄に住む子どもや女性はいつまで米兵の獲物にされ続けるのか。この国に見捨てられ続けるのか。

琉球大学教育学研究科教授

※ 上間陽子さんと沖縄タイムス社の許可を得て転載しています。